

## 組合の概要

### ◎ 地方公共団体の数

市	11
町	8
一部事務組合等	14
計	33



共済さん

### ◎ 組合員数および被扶養者数

一般職組合員	12,067人	後期高齢者等短期組合員	16人
特別職組合員	41人	継続長期組合員	57人
短期組合員	5,051人	任意継続組合員	248人
市町村長組合員	19人	組合員数合計	19,004人
特定消防組合員	1,501人	被扶養者数	13,661人
長期組合員	4人		

令和  
5年度  
決算の  
あらまし

## 厚生年金保険経理・退職等年金経理・経過的長期経理

被用者年金一元化後の長期(年金)給付を行う経理です。

共済組合は、組合員保険料・掛金・負担金を収納し、全国市町村職員共済組合連合会へ払い込みました。

### ◎ 厚生年金保険経理 (単位:千円)

収入	17,931,296
支出	17,931,296

### ◎ 退職等年金経理 (単位:千円)

収入	1,181,419
支出	1,181,419

### ◎ 経過的長期経理 (単位:千円)

収入	75,830
支出	75,830

## 退職等年金預託金管理経理・経過的長期預託金管理経理

全国市町村職員共済組合連合会から預託を受けた資金を貸付経理等に貸し付けている経理です。

共済組合は、その運用益をすべて全国市町村職員共済組合連合会へ払い込みました。

### ◎ 退職等年金預託金管理経理 (単位:千円)

収入 (地方債等の運用益)	4,123
支出 (連合会への払込金)	4,123

### ◎ 経過的長期預託金管理経理 (単位:千円)

収入 (地方債等の運用益)	268
支出 (連合会への払込金)	268

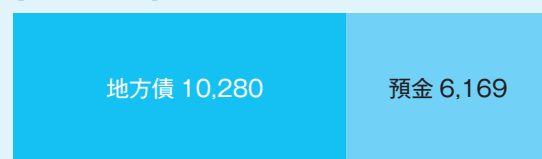
### 【資産構成】 (単位:千円)



総額 417,587

預金 38,587

### 【資産構成】 (単位:千円)



総額 16,454

その他 5

## 短期経理

組合員と被扶養者の病気やケガ・出産・育児・災害等における給付と、前期高齢者納付金をはじめとした各拠出金の納付および介護納付金に係る掛金等の徴収・納入を行う経理です。

令和4年10月から短期組合員(約5,000人)の加入により、組合員数は19,004人となり、医療費については前年と比べ約23%の増加で支出の51%を占めることとなりました。一方で、高齢者医療制度の拠出金については、前期高齢者納付金が13億3,800万円(対前年比1,446万円減)となるものの、後期高齢者支援金は団塊の世代が令和7年度にはすべて75歳に到達することにより、20億2,200万円(対前年比2億6,100万円増)と年々増加傾向にあり、拠出金の合計は支出の35%を占めることとなりました。

また、収入である掛金・負担金の算定の基礎となる組合員全体の平均標準報酬月額、令和5年度末で327,887円(対令和3年比373,606円)と大幅に低下したことにより、組合員1人当たりの年間平均収入の掛金・負担金の合計は令和3年度と比べ87,000円の低下となりました。

今後も、組合員1人当たりの医療費が上昇傾向にあることや、高齢者医療制度の拠出金と併せて短期財政に大きな影響を及ぼすものと考えられます。

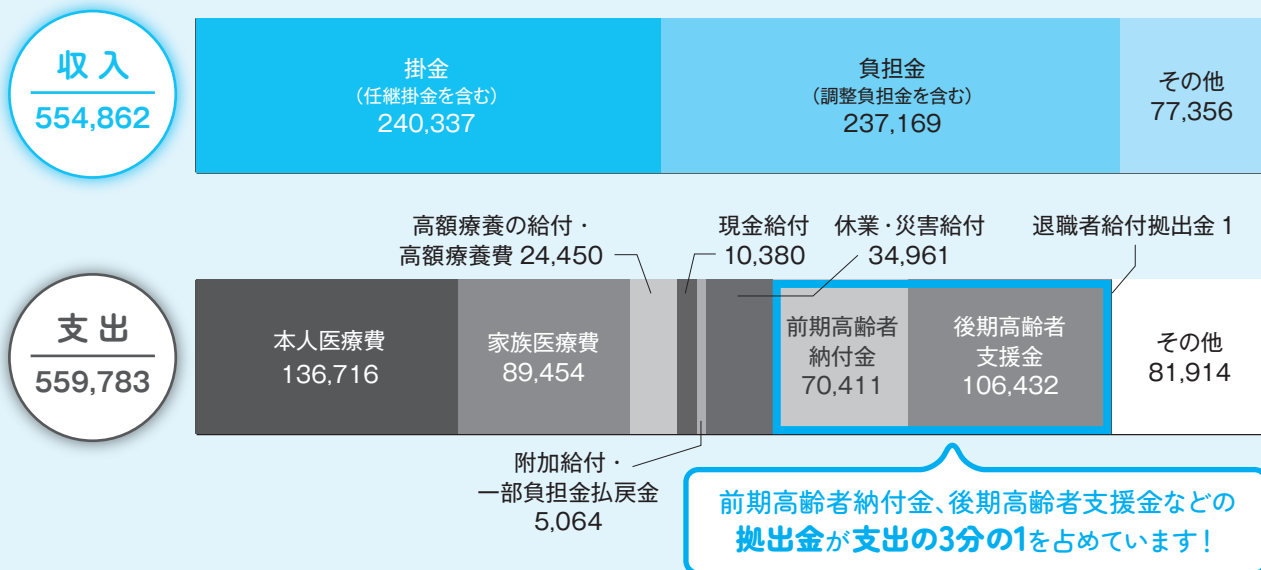
### ◎短期分 (単位:千円)

収入	10,547,639
支出	10,639,823
当期損失金	92,184
短期積立金	1,405,710
欠損金補てん積立金	428,026

### ◎介護保険分 (単位:千円)

収入	1,021,887
支出	1,024,984
当期損失金	3,097
介護積立金	64,446

### 【組合員一人当たりの短期に係る年間の平均収支状況】(単位:円)



(注) 1.算定基礎となる組合員数は、当該年の4月から翌年の3月までの組合員(任意継続組合員を含む。以下同じ。)数の合計の平均とする。  
2.介護納付金の納付に要する費用に係る収入・支出を除く。

## 業務経理

地方公共団体からの負担金と全国市町村職員共済組合連合会の交付金および短期経理からの繰入金等の収入をもとに、短期(医療)給付および長期(年金)給付事業のための経費、その他共済組合の運営に要する諸費用の支出を行う経理です。

(単位:千円)

収入	256,464
支出	248,483
当期利益金	7,981
積立金	514,959

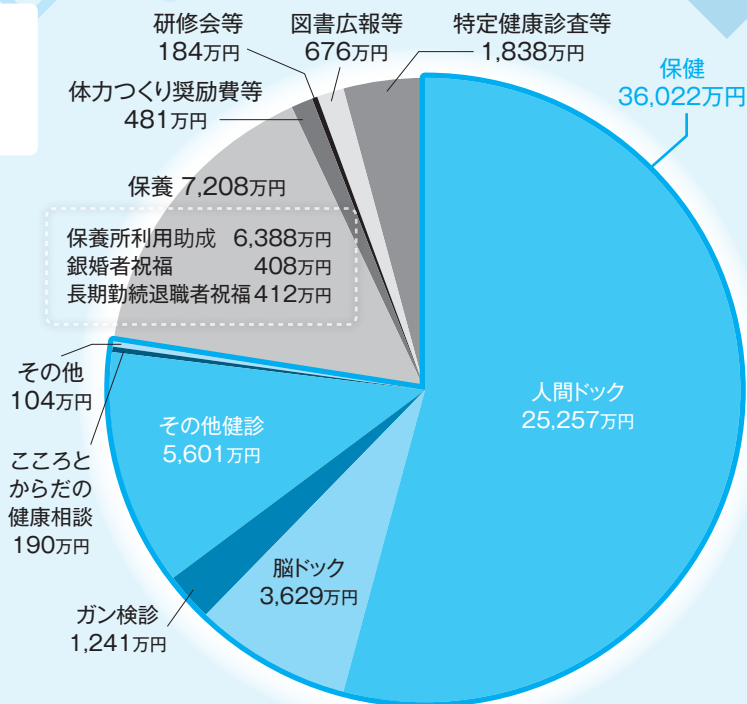
## 保健経理

医療費増高対策として、組合員と被扶養者の疾病予防や健康保持増進を目的とした福利厚生事業を行う経理です。

人間ドック等の利用は、事業計画通りに推移しましたが、健診関係や体育関係が令和6年能登半島地震の影響で伸び悩みました。令和3年度からの3期連続の損失金計上となりましたが、令和6年度より福祉事業の一部見直しを行い、収支改善に努めるとともに、データヘルス計画の推進を図ってまいります。

(単位:千円)

収入	413,541
支出	572,084
当期損失金	158,543
積立金	1,130,816
欠損金補てん積立金	3,504



事業費用 4億6,408万円

## 宿泊経理

組合員と被扶養者の保養施設として運営している「おびし荘」の経営を行う経理です。

令和5年度は新型コロナウイルスの影響が和らいだことや、全国旅行支援・北陸応援割および特別割引券による利用者の増加もあり、前年度より約3,500人多いご利用をいただきました。

令和6年能登半島地震による予約のキャンセルもありましたが、被災者の二次避難所として施設を提供するなど、地域のライフラインとしても活用いただいております。

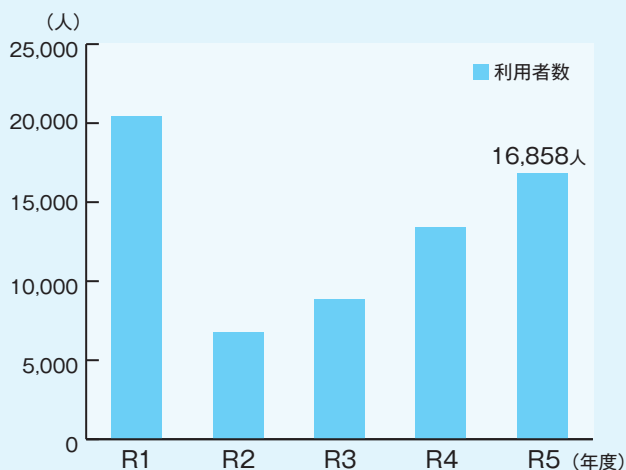
(単位:千円)

収入	293,272
支出	292,558
当期利益金	714
積立金	692,107
欠損金補てん積立金	34,757



みなさんにご満足いただける各種プランをご用意しています!

裏表紙へGO!



## 貯金経理

組合員の皆様からお預かりした貯金を安全かつ効率的に運用し、その利益を皆様に還元する経理です。

貯金事業については利率1.0%を維持しております。令和5年度の平均運用利回りは1.48%でした。引き続き安全性を重視した運用をまいります。

### ●資産構成

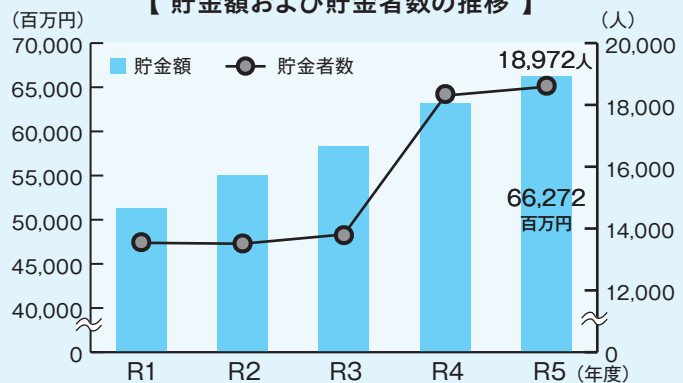
(単位:千円)

運用区分	金額	割合
普通・定期預金	4,310,944	5.70%
金銭信託	1,000,000	1.32%
国債	17,817,428	23.54%
地方債	5,399,680	7.13%
政保・公社公団債	8,584,966	11.34%
社債	38,580,210	50.97%
合計	75,693,228	100.00%

(単位:千円)

収入	1,087,483
支出	735,042
当期利益金	352,441
積立金	5,950,290
欠損金補てん積立金	3,313,620

### 【貯金額および貯金者数の推移】



## 貸付経理

預託金管理経理(年金財政)から資金を借り入れて、組合員の皆様の生活必需品や住宅建築等、必要な臨時資金の貸付を行う経理です。

新規貸付の件数は前年度より増加しましたが、退職等による償還により貸付残高は減少し続けています。また、令和5年度は昨年度に引き続き、宿泊経理への繰入を行った結果、損失金を計上しています。

### ●貸付金の利用状況

(単位:円)

貸付区分	金額	割合
普通貸付	215,307,228	32.01%
住宅貸付	308,490,031	45.86%
住宅介護対応住宅貸付	5,002,969	0.74%
災害貸付	2,131,810	0.32%
医療貸付	759,584	0.11%
入学貸付	16,516,211	2.45%
修学貸付	117,362,338	17.45%
結婚貸付	6,385,935	0.95%
葬祭貸付	741,208	0.11%
合計	672,697,314	100.00%

(単位:千円)

収入	8,887
支出	27,805
当期損失金	18,918
積立金	318,278
欠損金補てん積立金	33,635

### 【組合員1人当たりの貸付残高と新規貸付件数の推移】

